

「戦争は絶対してはいけない」

私は、政治がなすべきことで一番大事なことは、どんな手を使っても戦争を回避することだと信じています。

私の祖父は陸軍にいました。大変寡黙で温厚な祖父でしたが、私は日本大好きなので、戦争映画を見ていた時に「もう一回戦争をしてアメリカを負かしたい」と言った時に、「何てことを言うか～～。おまえの親とか知ってる人がある日突然死ぬんだぞ。それでもいいのか～～～」とかつてない大声で怒鳴られたことがあります。また、今は亡き、私にとって大変厳しかった父はかつて軍国少年だったので、よく日本の勇敢さを私に話していました。特攻隊の知覧に行った時に、生涯で唯一父が泣いていたのを下から見上げたのを覚えています。祖父母が亡くなった時を含め、その時以外に父が泣いているのを見たことはありませんので大変な衝撃でした。広島での14万人が一瞬に死んだ時の写真や、沖縄に行った時に日本軍の軍人が自決した洞窟を見ました。皆さん、戦争は現代を生きる私たちの想像以上に悲惨なものだと想像しなくてはなりません。戦争体験のある人達が指導者である時代は戦争は回避されるかもしれませんが、習近平、プーチン、トランプ、金正恩、安倍首相等の70歳以下の戦争を実際に体験していない世代が指導者になっているこの時代は、戦争を辞さずという勇ましい考えが支持を集める時が必ず来ます。今の若い人の方が、年取った我々よりも戦争を否定していないという傾向は大変気がかりです。勇ましい世論の方が引き気味の意見を圧倒する時代が必ず来るような気がします。皆さん、繰り返しますが、政治家が一番すべき大事な事は戦争を回避する事です。その為には、あらゆる事を考え、すべきです。逆説的ですが、その為には憲法9条を金科玉条のように守る事ではなく、以前からの私の持論である「核武装中立」が、日本にとっての最良の策だと、現時点では私自身は思っています。この考えが間違っていると納得した時は、私は自分の考えをすぐ変えます。それ位、戦争は絶対にしてはいけないのです。

今、戦争の可能性が以前より増してきているように思います。政治は皆様の生活に強く関連する大事な事なのです。あす、敗戦記念日ですが、皆さん、戦争だけは絶対にしないという思いを強く強く持ち、そのためにどうしたらいいか考えましょう。繰り返します。戦争は絶対にしてはいけない。